かわみなみ 議会だより

No.154
令和8年(2026年)
11月1日発行



守る力を次の世代へ!!
（町防災訓練から）

今号の内容

2・3…補正予算・条例
4・5…課設置条例改正
6～9…令和7年度決算報告
10…討論
11…議案質疑
12…賛否表・人事案件
13～15…一般質問
16・17…議会活性化調査特別委員会報告
18・19…自治公民館の活動
20…トピックス

議会の情報を発信しています
議会だより二次元コード

令和8年度 9月補正予算

3億3,303万4千円 可決!

補正後の一般会計予算
138億8,408万7千円

町のお金、今回はどこに使われる？

① 暮らしを支える

物価高への対応 3,000万円

① エネルギー価格高騰対策プレミアム助成金（900万円）

・1人2万円まで
・プレミアム率30%（最大6,000円）
・アプリ「チーカ」または専用カードで利用。

② 物価高騰緊急支援プレミアム助成金（2,100万円）

・1人3万円まで。
・プレミアム率20%（最大6,000円分）
・カード10%（最大3,000円分）

交通手段の確保 316万2千円

タクシー運行維持対策補助金

町内のタクシー運行を年度末まで維持



② 産業を支える

まちなか再生 1,000万円

まちなか再生収益力調査費用委託料

中心市街地の未利用地を活用するため、事業性を調査する。

スマート農業 846万5千円

スマート農業・農業支援サービス事業加速化総合対策事業補助金（1/2）

高性能コンバイン導入など、農業の省力化を支援する。

③ 学び・安全を支える

学校環境の充実 327万8千円

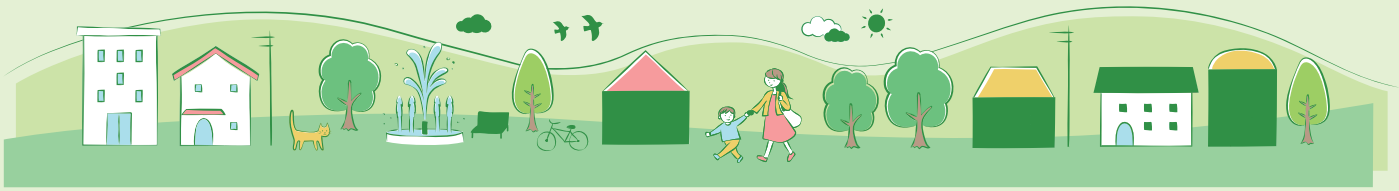
町内小学校（川南小学校、通山小学校）トイレ改修工事設計業務委託料

小学校のトイレ改修に向けた設計を実施する。

住宅耐震化、住環境の整備 39万円

住宅耐震診断委託料

昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震診断を追加支援する。



今期の主な条例改正

より良いまちづくりのために、組織の見直しや施設の管理、子育て支援などの条例を改正しました。

1 組織の再編・見直し（P4～P5参照）

川南町課設置条例の一部改正について

深刻化する人口減少と働き手不足に対応し、限られた行政資源で住民サービスを維持・向上できるよう、効率的な組織体制へ再編（見直し）を行うものです。

2 文化ホール・図書館指定管理者選定ルールの見直し

川南町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について

町文化ホール・図書館複合施設の耐力度調査等により舞台・ホールの再開目途が立たず、今年度の公募選定が困難なため、現期間満了後の令和9年度以降の指定管理者を公募によらず選定できるように条例を改正する。

3 老朽化対策　東地区運動公園体育館利用廃止（P10参照）

川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について

公共施設個別施設計画の劣化診断で、唯一緊急対策が必要な「Ｅランク」判定された。公共施設等総合管理計画に基づき令和9年3月をもって廃止を決定した。

4 保育料を完全無償化（令和9年4月より）

川南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について

深刻な少子化・人口減少を克服し定住を促進するため、町内の保育所・地域型保育事業等を利用する児童の保育料（利用者負担額）を完全無償化。子育て世帯の経済的負担を軽減する目的とする。

5 資料館を廃止へ

川南町土地改良歴史資料館条例の廃止について

設置目的を一定程度達成したとの判断から、町土地改良歴史資料館を廃止するとともに、併せて、関連する町使用料手数料徴収条例の一部を改正するもの。

町役場の組織と再編

川南町課設置条例の一部改正

人口減少が急速に進んでおり、今後、限られた経営資源を効果的・効率的に活用しつつ、行政サービスの向上を図るためには、組織体制を見直す必要がある。令和9年4月より実施。

（改正前）

1	総　務　課
2	財　政　課
3	産業推進課
4	農　地　課
5	建　設　課
6	上下水道課
7	教　育　課
8	議会事務局
9	税　務　課
10	会　計　課
11	まちづくり課
12	環　境　課
13	町民健康課
14	福　祉　課

（改正後）

1	総　務　課
2	財　政　課
3	産業推進課
4	農　地　課
5	建　設　課
6	上下水道課
7	教　育　課
8	議会事務局
9	税務会計課
10	総合政策課
11	町　民　課
12	福　祉　課
13	こども未来課

13課・1局を2つ減らして、**”こども未来課”**を新設し、12課・1局となり、**令和9年4月開始です。**

■川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人　口	転　入	転　出	自然増減		世帯数
				出　生	死　亡	
令和8年8月	13,765人	48人	43人	2人	12人	6,000世帯
令和8年9月	13,770人	46人	49人	8人	16人	5,989世帯
令和8年10月	13,781人	47人	27人	5人	14人	5,990世帯

12課1局体制へ

各課追加業務内容

総合政策課

- ふるさと納税に関すること
- 財源確保の推進に関すること



税務会計課

- 準公金の取扱いの指導に関すること



町民課

- 町民の健康及び保健衛生（母子保健を除く）
- 環境、公害及びゴミ処理に関すること
- 畜犬に関すること
- 墓地に関すること
- 再生可能エネルギーに関すること
- 火葬場に関すること
- 地下水に関すること





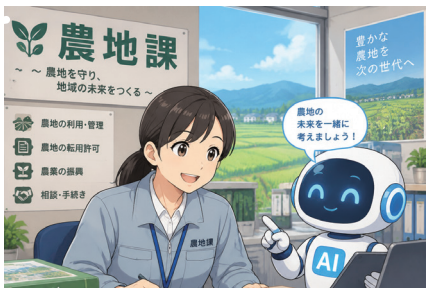
こども未来課

- 就学前の子どもに関すること
- 母子保健に関すること
- 子ども及び妊産婦の福祉に関すること



農地課

- 農地情報及びその利用に関すること
- 農地の多面的機能の維持・発揮に関すること



上下水道課

- 下水道及び漁業集落の排水に関する事務
- 生活用水及び生活排水に関すること



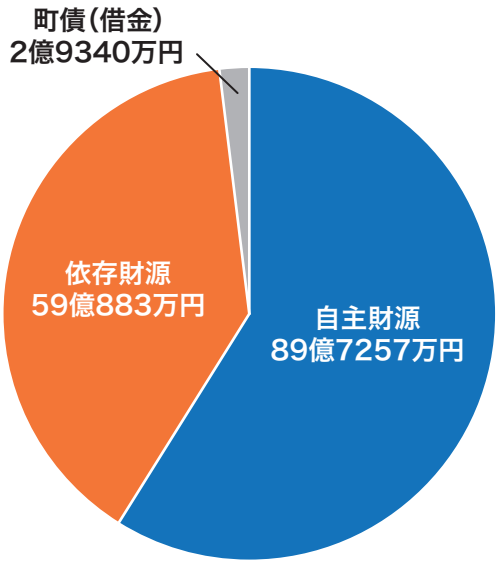
令和7年度決算

令和8年4月1日現在

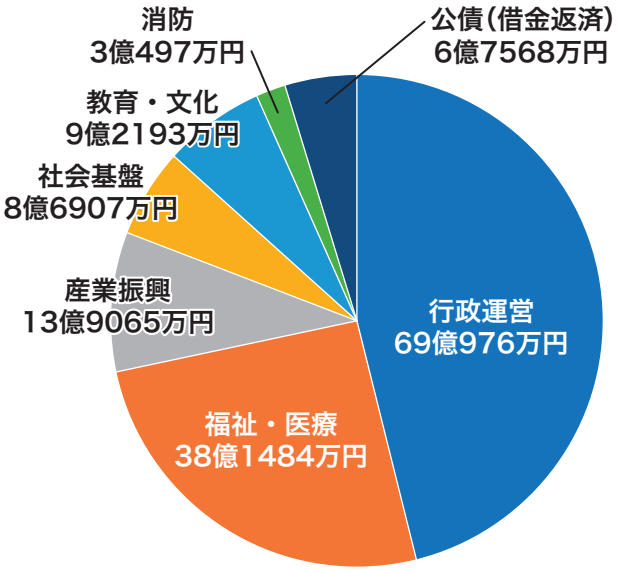
歳入 151億7480万7407円/1人109万5653円

歳出 148億8692万9634円/1人107万4868円

歳　入



歳　出



歳入		
自主財源　計	**89億7257万4788円**	**59.1%**
町税	18億8024万7187円	
分担金及び負担金	5907万2072円	
使用料・手数料	1億707万5034円	
財産収入	5526万7316円	
寄付金	34億7042万7165円	
繰入金	27億9676万6097円	
繰越金	4億7867万1037円	
諸収入	1億2504万8880円	
依存財源　計	**59億883万2619円**	**39.0%**
地方譲与税	1億2354万4000円	
各種交付金	4億9994万6000円	
地方交付金	28億7756万9000円	
国庫支出金	14億48万4842円	
県支出金	10億728万8777円	
その他	**2億9340万円**	**1.9%**
町債(借金)	2億9340万円	
歳入合計	**151億7480万7407円**	**100.0%**

歳出		
行政運営　計	**69億976万2055円**	**46.4%**
総務費	68億2071万7680円	
議会費	8904万4375円	
福祉・医療　計	**38億1484万110円**	**25.6%**
民生費	33億1969万8834円	
衛生費	4億9514万1276円	
産業振興　計	**13億9065万9906円**	**9.3%**
農林水産費	11億6523万320円	
商工費	2億2542万9586円	
社会基盤　計	**8億6907万8508円**	**5.8%**
土木費	8億3380万1987円	
災害復旧費	3527万6521円	
教育・文化　計	**9億2193万5917円**	**6.2%**
教育費	9億2193万5917円	
安全その他　計	**9億8065万3138円**	**6.7%**
消防費	3億497万2084円	
公債費(借金返済)	6億7568万1054円	
歳出合計	**148億8692万9634円**	**100.0%**

令和7年度決算　町のお金はどう使われたか？

子育て・教育

子どもの学びと、子育てを支える

入学祝金

2,045万円

小学校入学113人に各5万円、中学校入学148人に各10万円を支給。
令和6年、7年で実施。令和7年度で終了。



高等学校就学支援

2,594万5,000円

町内に住む、高校生の保護者に月額5,000円を支給。令和7年度で終了。



学校給食を無償化

小学校　3,959万7,000円、中学校　2,669万7,000円

町内の小中学校に通う児童生徒の給食費を町が全額負担。（材料代相当分）



給食に関する費用負担

8,552万549円

給食センターの委託料、光熱費、設備の管理維持や修理など。



公営塾

158万円

中学3年生を対象に、各中学校で水曜日の放課後に英語・数学を指導。



GIGAスクール

小学校　872万9,481円、中学校　491万9,583円

1人1台のタブレット端末を活用。ICT支援員やAIドリルなどを支援。



私立保育園の運営助成

5億2,823万8,000円

町内5か所と町外の保育所に通う町内在住の園児にかかる運営費。



妊婦支援給付

666万4,000円

母子手帳交付時と誕生後の訪問時に各5万円を支給。面談で体調や家庭の状況を確認。



令和7年度決算　町のお金はどう使われたか？

暮しを支える取組

毎日の安心や地域の施設に

文化ホールの改修

8,615万6,000円

文化ホール客席天井耐震診断。
エレベーター更新や監視カメラ設置など。
令和8年3月の調査で舞台の吊り天井に崩落の危険が判明し、現在ホールは利用中止。



運動公園の再整備（建設課担当分）

1億1,465万1,299円

プール解体と解体後の多目的広場の計画、駐車場増設（南側20台から57台）、園路照明・防犯カメラの設置、樹木伐採など。



プール解体後の多目的広場

道路の維持管理

9,867万5,373円

道路損傷個所12か所の改修と町内の草刈りを実施。



特産品の送料応援

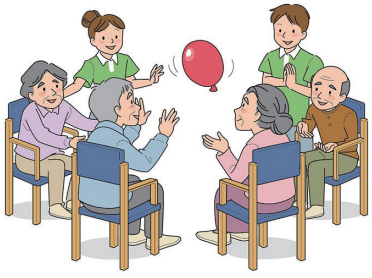
7,292万7,998円

特産品を送る際の送料を無料に。発送5万5005個、販売総額2億500万円。
利用者の78%は町外。
令和7年度は自主財源を使用し、令和8年度は予算計上なし。



敬老のお祝い・地域活動

敬老祝金（80歳・100歳、対象者151人）…161万円。
75歳以上の方に商品券1,000円を配布……312万4,000円
敬老行事を開催した6自治公民館へ……334万3,760円



令和7年度決算　町のお金はどう使われたか？

産業と防災

町の仕事と、安全を次の世代へ

新規就農支援

6,222万3,750円

新たに農業を始める16人に、要件に応じて補助金を交付。



町の広報より転載

肉用牛経営体緊急支援

1,254万円

町内産牛肉の消費拡大事業や、受精卵移植の推進、肥育素牛の導入など、46件を支援。



乳用牛経営体緊急支援

1,458万8,000円

飼料価格高騰分を1kgあたり3円助成。対象は酪農家10件。



漁業施設の改修

2,284万5,000円

川南漁協の冷凍冷蔵施設の改修を支援。



ため池の防災対策

2,491万3,449円

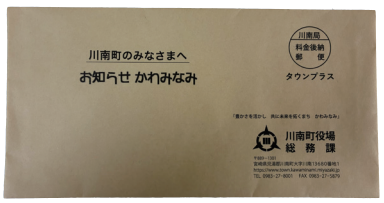
防災重点ため池の安全性を調べるため、2か所で調査を実施。



広報・公聴の推進

1,627万3,000円

「お知らせかわみなみ」を年12回全戸配布。
広報紙の発行、ホームページ更新（閲覧数23万6,779回）。



自治公民館活動

3,850万8,375円

自治公民館を中心とした地域の活動を支援。
イベント参加人数2,959人。



討　　論

今回、機構改革となる課の設置・廃止に関して反対討論・賛成討論が上がった。

議案第35号　川南町課設置条例の一部改正について

提案理由…人口減少や少子高齢化の進行、行政需要の変化に的確に対応するとともに、限られた経営資源を効果的、効率的に活用しつつ行政サービスの維持向上を図るためには、組織体制を見直す必要があることから所要の改正を行うもの。

反対討論　蓑 原 敏 朗

会計管理者職務は執行機関から一定の独立性を保持、課の処理業務は多数で町会計の最終チェック部署。決まれば表面上は流れるが、事務がおざなりにならないか危惧。人為的ミスや間違発生の無いシステム作りが重要。環境課廃止は、数年前に設置で目的は達成し役割は終了か。地球温暖化やGX等、環境対策は益々重要。町課題の臭い対策は大丈夫か。組織の縮小目的なら、窓口業務部署は極力減らさず、総務部門の再編検討がベター。

賛成討論　金 丸 和 史

人口減少や多様化する行政需要に対応するため、限られた人員や財源を有効に活用する機構改革の必要性を認め、賛成する。一方、長期的な課題に取り組むため設置された課もあることから、これまでの成果と課題を十分に検証し、専門性や計画を新体制へ確実に引き継ぐとともに、職員負担や内部のチェック体制、町民サービスへの影響を継続して検証し、必要に応じ柔軟に見直すことを求める。

賛成討論　北 原 輝 隆

経済推進会議の提言を踏まえ、人口減少や行政需要の変化に対応し行政サービスを維持向上するため、５つの課題を基に機構改革を進めてきた点を評価する。課統合による負担増への懸念には、業務量の調整や職員配置の配慮が示され、ボトムアップで改革案を練り上げた点も意義深い。議会としては、新体制を注視し改善を促しつつ、将来の人口減少下でも行政サービスを維持する改革を後押しするべきである。以上から本改正案に賛成する。

議案第39号　川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について

提案理由…川南町東地区運動公園の体育館につきまして、本年度末をもって廃止することに伴い、当該施設の使用料が規定されている部分を一部改正するもの。当該施設は、令和元年度に策定した公共施設個別施設計画における簡易劣化診断で、唯一緊急対策が必要なEランク判定となり、令和3年度に策定した公共施設等総合管理計画において廃止することとしている。

反対討論　河 野 浩 一

総務厚生常任委員長報告では、地震等のリスクに対応し、安全性を確保するためには東地区体育館を廃止するにはやむなしと判断と報告された。

ただ、附帯意見として利用団体に丁寧な事前説明を行うことが必要と求められている。

私も危険な施設の使用中止には理解を示すが、地域住民や利用者との説明会の第一回目が開催されたばかりである。この施設は防災拠点として住民が頼りにしている所でここがなくなる事には失望している。この条例改正は住民の声をもっと聴いた後に納得してからするべきだと考え反対討論とする。

賛成討論　徳 弘 美 津 子

東地区運動公園の体育館は、取得当時も老朽化や将来の財政負担について議論があった。15年間、地域の活動を支えてきたが、築45年以上が経過し、安全性への懸念から廃止は避けられないと考える。一方、廃止によって地域への支援を終わらせてはならない。大久保公民館の建て替えについて、公平性や財政負担を踏まえた協議と、体育館利用者の代替場所の確保を求め、命と安全を最優先とする議案第39号に賛成する。

聞いてみました

保育料完全無償化について

質問（徳弘）
改正文の中に、当分の間、「同条を一定利用する利用者の負担額を徴収しないものとする」とあるが、説明を求める。また、保育料無償化をしているところはどこがあるか。

回答（福祉課長）
この条例改正を作る際に、近隣街の改正を参考にしている。県の方向を注視しながら、周りが見えない部分もあるので、当分の間と言う表記をした。県内では、新富、木城、都農、西米良を含む8つの市町村で無償化が行われている。

消防団の処遇について

補正予算から（議案第45号）

質問（江藤）
退職功労金が176万円と上がっているが、何人が退職してこの金額なのか

回答（総務課長）
退職団員11人分を計上している。

質問（江藤）
消防団の置かれている非常に人数の少ない、苛酷な環境の中、消火作業など、いろいろ含めた中で、今後、ほかの町と足並みをそろえた金額なのか分からないが、川南町の消防団員だけでも増額していくという考えがあるのか。

回答（総務課長）
広域での退職功労金の金額を上げるかどうかという質問だが、こちらについては、近隣の町村の状況を見ながら、適宜判断したい。



まちなか再生収益調査委託料とは

質問（中瀬）
委託先についてどのような選定方法があるのか。

回答（まちづくり課長）
国が行う地域力創造アドバイザーという制度がある。この制度を活用して行っていきたい。創設しているアドバイザーは、施設の収益性や規模の根拠、融資を受けた場合の返済計画、施設の経営能力や運営、アドバイス等ができる。

タクシーが撤退

質問（徳弘）
タクシーが11月に無くなり、別のタクシー会社に運営委託するとあるが、業務に要する経費、どれくらいのものなのか。住民にとって町内にあるタクシーと同じようにスムーズに予約、使うことができるのか

回答（まちづくり課長）
12月以降については、新しいタクシー会社が平日の午前中2台、午後1台という形で考えている。

令和８年９月　定例会議事賛否表

賛否表示……○は「賛成」 ●は「反対」 議は「議長」の略 / 議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議
	議員氏名	小嶋貴子	今井孝一	中瀬修	金丸和史	河野浩一	北原輝隆	江藤宗武		永友美智子	河野禎明	蓑原敏朗	徳弘美津子	中村昭人
第3回9月議会定例会　※全会一致で可決された議案														
条　例														
川南町課設置条例の一部改正について														
川南町財政状況公表条例等の一部改正について														
川南町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について														
川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について														
川南町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について														
川南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について														
川南町行政改革推進委員会設置条例の廃止について														
川南町プール条例の廃止について														
川南町土地改良歴史資料館条例の廃止について														
川南町児童プール条例の廃止について														
補正予算														
専決処分の報告について														
専決処分の承認を求めるについて														
工事請負変更契約締結について														
令和8年度川南町一般会計補正予算（第3号）														
令和8年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）														
令和8年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）														
令和8年度川南町介護認定審査会特別会計補正予算（第1号）														
令和8年度川南町介護保険特別会計補正予算（第1号）														
令和8年度川南町尾鈴地区畜産用水管理事業特別会計補正予算（第1号）														
令和8年度川南町電子地域通貨事業特別会計補正予算（第1号）														
決算認定														
令和7年度川南町一般会計歳入歳出決算認定について														
令和7年度川南町特別会計歳入歳出決算認定について														
令和7年度川南町水道事業会計決算認定について														
令和7年度川南町下水道事業会計決算認定について														
令和7年度の財政健全化判断比率及び資金不足率について														
第３回９月議会定例会　※賛否が分かれた議案														
	議	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議
川南町課設置条例の一部改正について	結果	○	○	○	○	●	○	○	／	○	●	●	○	―
反対討論：蓑原敏朗　賛成討論：金丸和史、北原輝隆														
川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	結果	○	○	○	○	●	○	○	／	○	○	○	○	―
反対討論：河野浩一　賛成討論：徳弘美津子														

人事案件

人権擁護委員



北原幸子氏

教育委員



椎木祐二氏

農業委員



永友　昭氏

一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。
二次元コードからホームページの各議員のページにて、ご確認いただけます。



徳弘美津子

若い世代から選ばれる、切れ目のない子育て支援

問1 本町の出生数は令和2･3年度の各86人から令和7年度は58人に減少。10年間で転出した0～5歳児296人のうち、都農町への転出は49人と最多だった。要因分析と当事者の声の把握は。

答1【町長】強い危機感を感じている。

答1【まちづくり課長】子育て世代に特化したアンケートや転出時の聞き取りを行っておらず、声を早く把握できれば、多角的な施策を見直せたと考える。

問2 妊娠期から顔の分かる相談関係を築き、身体的ケア、休息、食事を組み合わせた産後支援を充実できないか。

答2【福祉課長】相談への心理的ハードルに配慮し、民間事業者や専門職を活用した心身のケアを検討する。

問3 国の補助制度を活用し長期休暇中の弁当提供と、高学年も安心して過ごせる居場所を。公共施設や高校生の力を活用できないか。

答3【町長】必要性は認識しているが､次の夏休みからの実施は安全・衛生管理、財源、人員確保に課題があり、調査研究を進める。

問4 新設予定のこども未来課の使命と初年度の重点は。

答4【町長】子育て支援を最重要政策の一つとし、経済的支援に加え相談窓口を強化。当事者の声を施策に反映し、関係機関との連携と情報発信の改善を進める。



蓑原敏朗

人口動向と具体策

現状認識と現地調査

問1 速報値感想と目標、近隣町類似団体調査比較・現地調査は。

答1【町長】減少は緊急性を再認識、2040年1万人を割らない対策を打つ、好事例は視察し取り組む。

答1【まちづくり課長】県データ検討、他自治体ホームページ確認検討。

農業対策

問2 高付加価値、販路拡大、スマート農業具体

答2【町長】付加価値向上、販路拡大は県・JAと協議、スマート農業は町単独補助制度を実施。

送料助成

問3 希望は多く、問題点を改善し復活を。電子地域通貨トロン(チーカ)は町外者も購入､公平性・公益性とは。

答3【町長】参加事業者は98で増えず、中止は問題意見は一人、町外78％で町費は如何。効果検証できずタウンミーティングで中止意見。

答3【産業推進課長】制度上､地域通貨(チーカ)町内限定は不可能。生活者支援策で町外消費を呼込み、経済活性化を図る。

有機検討・農業基盤整備

問4 耕畜連携可能、畑かんも整備。国は有機農業推進。農業基盤整備要望がある。

答4【町長】今後の課題。

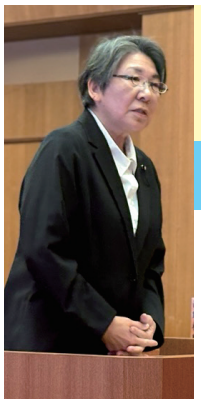
答4【産業推進課長】一部で実施､情報提供する。

答4【農地課長】合意形成を図り整備に努める。

有機検討・農業基盤整備

問5 経過と町民への情報提供。

答5【農地課長】法に基づき県が調査公表、濃度は低下。町ホームページや様々な手法で伝達する。



永友美智子

施策の進捗状況

町外移動について

問1 川南町タクシー運行支援事業の利用状況と今後の方向性について問う

答1【まちづくり課長】令和8年4月から7月までの実績で、各月41件から45件程の運行回数となっている。営業時間の長さに違いがあるが、日曜日の利用が半数を占めている。町民の方々へのPR不足を補うため、日中のタクシー利用者に対して、チラシ等の配布が出来ないかを検討中である。

問2 3月議会にてオンデマンドバスと高鍋・都農間を結ぶコミュニティバスとのスムーズな乗り継ぎが出来るよう、関係機関と調整を進めていくとの事であったが、現在の進捗状況を問う

答2【まちづくり課長】高齢者の方々へタクシーチケットをお配りしているため、今年度下半期のタクシー事業者の確保が最優先。今後の状況をみながら乗り継ぎ改善等に向けた協議を進めて行こうと考える。



包括施設管理業務委託について

問3 令和8年10月開始のこの事業の現状と今後の展開について伺う

答3【財政課長】受注者が農村環境改善センター内に事務所設置。受注者による各施設への現地訪問実施し、施設の現状や個別課題について共有認識を図る。包括施設管理の目的は、公共施設の安全性、長寿命化とライフサイクルコストの抑制などがあるが、副次的効果として人材育成などの効果がある。



河野禎明

新中学校建設予定地について

問1 新中学校建設予定地に、前の町長が桜を植えて花見公園を作ると言っていたが、新中学校建設すれば町民の公園がなくなるが、どのように考えているか。

答1【町長】新中学校の整備に伴い、現在の公園は利用できなくなる。代替え公園は考えていない。

問2 町民の代わりの公園は考えていない。学校の跡地もどうするか考えていない。文化ホールは使えるかどうかわからない。公園には口蹄疫の慰霊碑があり、県知事が毎年来ている町にとって大事なところだ。学校を作るだけじゃ駄目ではないか。総合的に考えるのが行政じゃないのか。

答2【町長】川南町のまちづくりに対して町民を対象にワーキンググループを行うようにしている。今後の中学校の跡地、まちづくり商店街も含めてどういう将来像を描いていくかと言うことで、3回のワーキンググループでの討論をするように計画している。



問3 10年位前川南は合宿キャンプが多く輝いていた。中学校ができたら減るのではないか。

答3【町長】川南町総合運動公園の野球場が整備された。またそのことによって大学、高校、社会人の合宿が予定されている。決して中学校ができたから減るとは捉えてない。



北原輝隆

川南町の南海トラフ巨大地震への備えについて

町議会一般質問では、防災・減災に関する10項目について町長、各課の答弁を求めた。

答【町長・各担当課長】

①巨大地震時の断水率ほぼ100％という想定に対し、町は応急復旧と並行して飲料水確保を目的とした「応急給水計画」を策定した。

②耐震基準を満たさない2避難所については、耐震化や代替施設の確保など複数案を検討し、地域の意見を踏まえ方向性を整理するとした。

③津波想定が14mへ更新された点では、影響は小さく、地域防災計画見直しと併せ令和9年度にハザードマップを更新する方針が示された。

④要配慮者の個別避難計画は進捗が遅れているが、関係機関との協議強化により、浸水深30cm以上区域の対象者について年度内100％策定を目指す。

⑤避難所収容力と人口分布の照合は法的義務はないが必要性を認識し検討を進める。

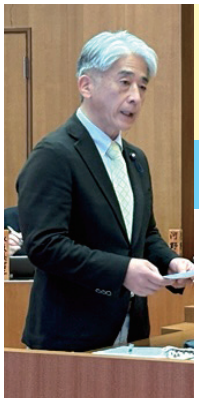
⑥戸別受信機は全戸配布廃止を決めておらず、情報弱者に確実に届く複数手段の組合せを検証する。

⑦72時間行動ガイドは未作成だったが、町はHP掲載を開始し周知を進める。

⑧広域受援計画は必要に応じて見直し、県・郡との連携訓練を継続する。

⑨福祉避難所は物資不足や職員確保に課題があり、協定強化や調達ルート確保、訓練充実で改善を図る。

⑩農業・畜産事業者向けBCPは農業版BCPを活用し、関係団体と連携して事業者の策定を促す方針が示された。



中瀬　修

「生活継続型防災」と新中学校を核とした地域防災拠点の構築について

問1 生活継続型防災の考え方を町の防災政策に取り入れる考えは。

答1【町長】 生命の安全確保に加え、飲料水・生活用水、食料、電力、トイレ、医療・介護等を確保し、災害関連死の防止と早期の生活再建につなげる。関係機関や地域と連携して取り組む。

問2 災害時の生活用水確保と井戸の登録制度は。

答2【上下水道課長】 応急給水計画を策定。井戸登録は所有者の同意、水質・水量、停電時の使用方法等を整理し、制度化を含め検討する。

問3 トイレ、暑さ対策、非常用電源、燃料の確保は。

答3【環境課長】 簡易トイレを備蓄し、マンホールトイレ等も検討する。トイレカーや仮設トイレは広域連携・民間協定を検討。発電機を避難所等に配備し、スポットクーラーや電源の確保、燃料供給体制を検討する。

問4 要配慮者や子育て世帯への支援は。

答4【福祉課長】 避難行動要支援者名簿と個別避難計画を整備し、関係機関と情報共有する。福祉避難所、医療・福祉施設との連携、妊産婦・乳幼児への物資・情報支援を進める。

問5 コミュニティセンターを防災健康ステーションとして活用できないか。

答5【町長】 地域防災拠点としての役割を踏まえ、地域の実情に応じたモデル的な取組を協議する。

問6 新中学校に防災拠点機能を組み込む考えは。

答6【教育長】 教育環境の充実を基本とし、別府西中学校の事例も参考に、災害時の役割を検討する。

問7 道路・橋梁の防災対策と新技術の活用は。

答7【建設課長】 重要道路を整理し、優先順位をつけて維持管理する。道路啓開体制を強化し、ドローンやデジタル技術等を段階的に活用する。

議会活性化調査特別委員会報告

地域の声から、これからの「自治」を考える

― 6地区を回り、自治公民館の在り方を議論 ―



グループに分かれ、地域の現状や制度の課題を洗い出し



グループごとの意見を発表・共有

6地区から見えてきた主な声

- 役員の高齢化や担い手不足により、特定の人に負担が集中している。
- 行事や会議、行政からの依頼など、活動そのものの負担を見直す必要がある。
- 振興班に加入していない世帯が増える中、情報伝達や地域とのつながりをどう確保するか。
- 防災、安否確認、見守り、避難支援などは、振興班加入・未加入にかかわらず必要。
- 消防団や民生委員など、地域を支える関係機関との連携を深める必要がある。
- 地区ごとの特色は大切にしながら、安心・安全には地域差が生じない仕組みが必要。



大切にしたい視点

自治公民館を中心として築かれてきた人と人とのつながりは、川南町にとって大切な地域資源であることも改めて確認しました。

人口減少、高齢化がさらに進むこれからの地域社会において、防災、高齢者の見守り、子どもの安全、孤立防止などを考えれば、人と人とのつながりや地域の支え合いは、これまで以上に重要になると考えます。

「自治公民館という組織を維持すること」だけを目的にするのではなく、防災・見守り・情報伝達・交流など、町民が安心して暮らすために必要な地域の機能を、これからどのように維持していくかという視点で議論を進めています。

多様な世代・立場の声も議会へ

― 女性団体・若者との意見交換会 ―

各種女性団体連絡協議会　8月19日



主な声

- 議員はまちの未来にどのような思いをもって活動をしているのか一人ひとり話してほしい。
- 沿岸地域では、東日本大震災以降、津波への不安から若い世代の高台への移転が進み、地域の活力が低下している。
- 自治公民館まで距離があり、移動手段を持たない高齢者は、参加したくても参加しにくい。
- 議員は地域のイベントなどに積極的に顔を出してほしい。

若者連絡協議会「夜なべ討論会」　8月24日





前回の意見交換で出された質問に対し、動画配信が6月定例会から始まったこと、新中学校整備に向けた基本計画、運動公園（パンダ公園）の整備、空き家・空き店舗対策などの現在の状況を議員から報告。その後、小中学校の統合、空き家、交通、情報発信などをテーマに意見を交わしました。

聞いて終わりにしない。次の議論へ

一連の意見交換から、世代や立場が違っても、「地域のつながりをどう保つか」「安心して暮らせる仕組をどうつくるか」「必要な情報をどう届けるか」という共通する課題が見えてきました。

今後は、寄せられた意見を整理し、関係機関との意見交換も重ねながら、自治公民館の役割、行政と地域の役割分担、役員負担の軽減、防災・見守り、未加入世帯とのつながりなどについて検討を深めます。

6地区・各団体から意見聴取 ➡ 意見・課題を整理 ➡ 関係機関とも意見交換 ➡ 議員間で検討 ➡ 議会として町へ提言

山本地区自治公民館（人口1,191人／旧10・11・12・13分館）

世代を超えて交流「山本地区自治公民館盆踊り大会」

山本地区自治公民館では、地域住民の交流と親睦を深めることを目的に、9月14日、山本地区コミュニティセンター前広場で盆踊り大会を開催しました。地域の皆さんの協力のもと、盆踊りをはじめ、子どもから高齢者まで楽しめる催しを行い、多くの笑顔でにぎわいました。世代を超えて顔を合わせ、ふれあうことのできる大切な地域行事となっています。これからも、地域のつながりを大切にしながら、誰もが参加しやすく、楽しめる自治公民館活動に取り組んでいきます。


盆踊りの様子

東地区自治公民館（

東地区自治公民館の三大として「納涼盆おどり」「収「ウォーキング＆宝さがしあり、参加人員はどれも10の行事です。



7月の盆おどりは町内で初の盆おどりとして定着しどもから大人まで楽しん

川南西地区自治公民館（人口2,937人／旧5・6・7・8・9分館）

夏を彩る川南西地区産業文化祭

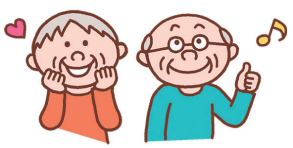
毎年7月、西地区コミュニティセンターで開催される真夏の恒例イベント。会場には新鮮な農産物や自慢の加工品がずらりと並ぶほか、小学生から長寿会の方々まで、地域みんなの心がこもった個人作品が勢ぞろい。作品は来場された皆さんの投票で審査され、上位3名には豪華景品が贈られる。さらに、来場者のお腹も満たす女性部が丹精込めて作ったカレーライス､かき氷やポップコーンの嬉しい振る舞い！大人気のメダカすくいなどお楽しみも満載！地域の絆と笑顔が広がる賑やかな一日へ、ぜひご家族･ご近所皆様で来ないよ！



多賀地区自治公民館（人口1,337人／旧21・22・23・24分館）

令和7年度行ったいろんな行事の中、一番奇抜でであった**”熱気球体験会”**についてご紹介します。R8/1月早朝より、**熱気球チーム薩摩大志**のお力を借りて､十文字農村公園にて実施。（来場者150名･･･搭乗体験者110名）搭乗順番待ちの方の為にぜんざいを準備。皆さんおいしそうにほおばっていらっしゃいました。子供さんからご年配の方まで、皆で楽しめたイベントでした。隣の保育園の子供達が、気球に乗った先生方に大きく手を振る姿が今も頭に浮かびます。





自治公民館の活動

６地区自治公民館活動の一部を紹介。

人口：令和8年4月1日現在

中央地区自治公民館（人口3,809人／旧1・2・3・4分館）

「子どもと敬老者がつながる秋まつり」

中央地区自治公民館は、約1,910世帯・3,800人が暮らす地区で、皆様が安心して暮らせる住みよい地域づくりを目指して活動しています。

「楽しく、美味しく、健康に」学ぶ！　をスローガンに住民同士の交流を深める行事や、環境美化活動、防災・防犯活動、子ども食堂など、地域に密着した様々な活動を行っています。

中央地区でも少子高齢化や人口減少に加え、振興班への加入率の減少に加え、振興班への加入率の低下や担い手不足など、他の自治公民館と同様の課題を抱えています。こうした状況だからこそ地域住民が互いに支えあい、世代を超えてつながることが、これまで以上に大切です。目玉は、11月に実施する「子ども・敬老秋まつり」で、「子どもと敬老者が交流しつながる貴重な場」として思いを込めた、中央地区が全力を注ぐ大イベントです。



通山地区自治公民館（人口2,869人／旧18・19・20分館）

子どもを真ん中に、地域でつながる公民館（通山自治公民館）

公民館は、通山小学校区内にお住まいの皆さんが対象です。みんなでコミュニティ活動を楽しみながら、地域の力を高めていく活動の場です。（通山地区自治公民館の規約を要約）「子どもを真ん中に」・・・いつでも集えて、どこかホッとする公民館でありたいと思います。





毎年鯉のぼりを建てます

【令和7年度の行事より】

5月の敬老会。残暑の厳しい時期に、皆さんの体調を心配しながら行うより、新緑の5月に開催できないかと考えました。土日は若い方も忙しく、交通手段の確保も難しいため、平日に町のバスを利用することに。2つの保育園にも声をかけて、小学校には1クラスほどの参加をお願いしたところ、なんと保育園は快諾！小学校も学校全体で協力してくださいました。子どもたちとの交流は、見ているだけでも大変感慨深いものでした。

（人口2,051人／旧14・15・16・17分館）

大事業
穫祭」
し」が
00人超

では最
し、子
んでも



らっている。大久保盆踊り保存会の協力と、地区内の団体による焼きそば、かき氷などのふるまいと、最後にはお楽しみ抽選会で盛り上がっています。地区内の方の「カブトムシ」の提供により、ジャンケンで子供に喜んでもらっています。

2027年の夢へ向かって挑む！

第80回 青の煌めきあおもり国スポに出場！ 大活躍した2名を紹介

【競技種目】ラグビー競技7人制成年男子

今 村 龍 也選手（尾鈴地区土地改良区連合勤務）

今回、準優勝を手にすることができました。

大観衆の前でプレーできたことや、温かい応援に深く感謝しています。



週末のチーム練習に加え、平日は仕事終わりにジムでの筋トレやランニングに励んできました。職場の理解や地元・川南クラブの環境、タグラグビー教室で出会った子どもたちの応援が大きな原動力です。感謝の思いを忘れることなく、努力を続ければ、結果にかかわらず一生の財産となる「経験」が得られました。来年は宮崎での開催です。優勝という最高の結果で皆さんに恩返しできるよう挑み続けます！



※掲載した写真は、本人より提供されたものを使用しています。

【競技種目】トライアスロン

橋　　英(あき)選手（役場福祉課勤務）

県代表として男女混合チームで大会に出場し、2時間22分10秒で完走。レース展開に悔しさは残るものの、６回目の出場で自身過去最高となる個人42位(女子総合3位)、仲間との力を合わせ男女総合6位入賞することができました。





仕事と両立しながら、出勤前後などの時間で工夫し練習を重ねながら、仲間と切磋琢磨できました。川南町は、恵まれた練習環境と地域の方々からの温かい声援が一番の励み。今後は、失敗を恐れずに挑戦し、自分の可能性を広げながら挑み続けたいです。

応援ありがとうございました。



※国民障がい者スポーツ大会出場者につきましても次号掲載します。

【編集後記】

山粧う刻（やまよそおうとき）、風の音すらも色彩を帯びて聞こえる晩秋の夕暮れ。遠い山へと日が沈むと、一気に秋の日暮れが押し寄せてきた。止まることを知らない時の流れは、また新たな季節へと私たちを誘う。

さて、今期の9月定例会では、行政サービスのさらなる充実に向けて課設置条例の一部改正が可決された。今後、町民の皆様にとってより分かりやすく、相談しやすい行政サービスにつながることを期待したい。一方で、この夏は猛暑をはじめ、地震や豪雨による災害がこれまでの常識を打ち砕く季節でもあった。自然の猛威の前に人の無力さを痛感させられる一方で、被災地で手を取り合い、助け合いながら再建を目指す姿には強く心を打たれた。「明日は我が身」。私たちはこれからどのような備えをしていくべきなのか。季節の節目にあたり、災害への備えを改めて考える日となった。　　中瀬　修

議会広報編集委員　●委員長　徳弘美津子　　●副委員長　小嶋貴子
●委　員　中瀬　修、今井孝一、永友美智子

一般質問

定例会

【編集・発行】宮崎県川南町議会　〒889-1301　宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1　TEL 0983-27-8017
【発　行　者】川南町議会議長　　【編 集 者】議会広報編集特別委員会　　【印刷】ヤ マ キ 印 刷